



▲学生によるステージ企画のひとつ「環境戦隊ゴミレンジャーショー」で子どもたちにゴミの分別を分かりやすく紹介

昨年に開催された第22回湖風祭に合わせ、メインステージの資材を後援会が一部助成し、湖風祭実行委員会が購入しました。

例年メインステージは業者からレンタルしていましたが、学生には自分たちのステージを持ちたいという思いがあり、一昨年から学生懇談会や後援会理事会等でステージ購入費の助成を要望してきました。当初、後援会役員からは学生だけでステージを設営することに心配の声が上がりました。しかし、話し合いを続けていく中で学生たちの真摯な思いをくみ取り、ステージ設営には細心の注意を払うこと、部材の管理やメンテナンスをしっかりと行うことを約束し、購入費の一部を後援会から助成するに至りました。

自分たちのものとなったステージで、今後ますます笑顔と歓声のあふれるイベントを企画していただけることを願っています。



ステージを設営する学生たち

CONTENTS

後援会ニュース

「湖風祭メインステージ」…………… 1

課外活動レポート

「第22回湖風祭」…………… 2

「湖風祭実行委員会」…………… 3~5

就職だより

就職支援、保護者向け就職説明会…………… 6

インターンシップ報告、
公務員試験対策講座のご案内…………… 7

就職内定者インタビュー…………… 8

大学からのお知らせ

学生相談室・健康相談室より…………… 9

事務局からのお知らせ…………… 10~12

第22回 湖風祭



昨年11月12日、13日の2日間にわたり開催しました「第22回湖風祭」は、両日とも快晴に恵まれ“お祭り日和”となりました。当日は、小さなお子さん連れのご家族や小中学生からお年寄りまで、老若男女を問わず多くのお客様にご来場いただき、「湖風祭」という「Canvas(キャンパス)」に何百何千の色とりどりの笑顔を描くことが出来ました。

ステージ企画や音楽会ライブ、模擬店、フリーマーケット等いずれも大盛況で、大きなトラブルもなく無事に終えることができ大変嬉しく思っています。第22回湖風祭にご協力くださいました全ての皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

今まで続いてきました湖風祭は、今年で22回目となりまた伝統を紡ぎました。こうして、祭りを続けていくことができたのも、クラブやサークル、教職員の方々、協力して下さる地域の方々、お越し下さったお客様など、湖風祭に関わって下さった皆様のおかげです。これからも湖風祭が、皆様に愛される「地域の祭り」として続いていきますよう、実行委員一同邁進してまいりますので、今後とも変わらぬご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、今回、念願でありましたメインステージの資材を購入することができ、自分たちでステージを持つことができました。ご協力いただきました後援会の皆様、ありがとうございました。今後は湖風祭だけでなく、様々な機会に活用していきたいと考えています。これからの湖風祭実行委員会にご期待ください。



滋賀県立大学湖風祭実行委員会
22代目実行委員長
盛下 勇磨



特集

「湖風祭実行委員会」

県大がいちばん賑やかに盛り上がる「湖風祭」。このお祭りを企画・運営しているのが「湖風祭実行委員会」です。課外活動団体としては一番大きな団体で、総勢160名余りが6つの部署に分かれて日々活動しています。新入生が入学前に集まる「友好祭」、入学式の日キャンパスで行われるクラブ紹介、入学してからの「県大新歓」も湖風祭実行委員会が運営しています。今回は、第22回湖風祭の裏側で、普段見えない湖風祭実行委員会メンバーたちの姿を紹介します。

準備

“手作りの学園祭”を合言葉に準備は夏頃から始まります。



湖風祭当日

終了後、メインステージで記念撮影。やり遂げた達成感が込み上げてくる瞬間です。



遅くまで準備が
続き疲れは
パークに



後片付け

ステージの解体やごみの処分もしっかりと。まだまだ湖風祭は終わりません。



学生の自主的な活動で湖風祭は作り上げられています。後援会は、これからも頑張る学生たちを応援していきます。

☆「湖風祭」の様子や「湖風祭実行委員会」の情報はホームページから
ご覧いただけます。

滋賀県立大学 湖風祭実行委員会

検索

ホームページ <https://kofoo.jimdo.com/>

「湖風祭実行委員会」部署紹介

幹部の皆さんに自分たちの部署を紹介していただきます。

会場部



栗原 祥太さん

(工学部 電子システム工学科)

● 部署紹介

会場部の主な仕事はステージ設営や照明、配線、会場内の装飾づくりです。自分たちで最初から考えて作り上げたときの達成感は普通の大学生活では得られないものであり、会場部の魅力のひとつです。40名以上が所属しており、学年に関係なくみんなで楽しく作業をしています。

● 第22回湖風祭を振り返って

2日とも天候に恵まれ、想像以上にたくさんの方々にご来場いただいてとても嬉しかったです。みんなで作った装飾物で子どもたちが遊んでくれたり、会場の装飾の写真を撮ってくれている姿を見たときは頑張った甲斐があったと感じました。県大生や地域の方々など、たくさんの人たちの笑顔を見られて本当に湖風祭を運営出来てよかったと思いました!!

企画部



関 大志さん

(工学部 機械システム工学科)

● 部署紹介

企画部は、湖風祭の当日に行われるすべての企画を統括する部署です。オリジナルのステージ企画や子ども向けのブース企画を考えたり、学内のクラブ・サークルの方や地域で活躍されている学校外の団体さんと連絡を取り、当日行う企画について会議をしたりします。湖風祭の当日、お客さんに笑顔になってもらうために日々活動に取り組んでいます。

● 第22回湖風祭を振り返って

湖風祭に来ていただいたみなさんが湖風祭の企画を通じて地域の方々との繋がりや「県大らしさ」を感じていただけたら嬉しいです。そして、また来年も湖風祭に来たい!と願っていただけたら何よりの幸せです。湖風祭の企画に出演していただいた皆様、企画の運営にご協力いただいた皆様、そして企画に参加していただいた全てのお客様に感謝します。

広報部



宮川 翔さん

(工学部 電子システム工学科)

● 部署紹介

広報部は実行委員会内最少の10人で活動しています。広報部では湖風祭のポスターやパンフレット、湖風祭の運営にご協力いただいた企業様の広告を掲載した「湖風祭情報誌『KoFuk(コーフク)』」を作成しています。また、学内配布用のビラなど様々な広報物を作成しています。湖風祭当日には企画紹介をしながら会場内を練り歩くなど様々な広報活動も行っています。

● 第22回湖風祭を振り返って

湖風祭情報誌やパンフレットの作成を通して、湖風祭が多くの人たちに支えられ、地域の皆さんと共にあるということを感じることが出来ました。休みなど関係なく何かしらの作業に追われる日々でしたが、無事に湖風祭を終えることが出来て良かったです。

総務部



上田 遼介さん

(工学部 機械システム工学科)

● 部署紹介

総務部では主に物品の管理や大学や外部への様々な許可申請をするなど、湖風祭を支える仕事をしています。事務的な作業が多く、湖風祭当日に表立って目立つ仕事をする部署ではありませんが、必要な物品の準備や駐車場・案内所の管理など、まさに「縁の下の力持ち」として、あらゆる部署のサポーターとなり、湖風祭を成り立たせる、無くてはならない部署です!!

● 第22回湖風祭を振り返って

実は、今回の湖風祭で私は本部室内で全体への指示出しに徹しており、実際の会場の雰囲気あまり体験できませんでした。しかし、本部へと集まってくる情報や現場の声から、多数のお客にご来場いただいていることがわかり、例年以上に盛り上がった湖風祭になったのではと、今までの苦勞が報われた2日間となりました。

販売
統括部



堀 晃 樹さん

(環境科学部 環境政策・計画学科)

●部署紹介

販売統括部では、主に模擬店とフリーマーケットの統括や湖風祭の主旨の一つに掲げている環境配慮を推進するための企画を考えています。実施する企画は4つあり、どれも湖風祭が開催される当日だけでなく、お客様が家に帰ってから環境について身近に考えてもらえる企画となるよう考えています。

●第22回湖風祭を振り返って

私は、湖風祭は学園祭という学生だけが作るものではなく、学内・学外団体の方々や地域の方々と一緒に作る滋賀県の行事だと思っているので、第22回湖風祭も学生だけでなく、多くの皆さんと一緒に進んでこられたことに感謝しています。両日ともに多くのお客様に来場していただき、お客様やみんなの笑顔で湖風祭の温かい雰囲気をつくれたことを嬉しく思います。

渉外部



井 賀 真 奈 美 さん

(工学部 電子システム工学科)

●部署紹介

渉外部は湖風祭の宣伝や紹介をする部署です!お店でチラシを配布したり、他大学や地域のお祭りに出店したりしてお客様と最も近くかかわれる部署だと思います。県大生に身近なもので言うとツイッターの投稿やホームページの更新も渉外部が行っています。現在部員は11人と多くはありませんが、和気あいあいと活動しています。

●第22回湖風祭を振り返って

湖風祭は多くの方々の協力で成り立っています。渉外部としては地域の学校や自治体の方に協力していただきチラシを配布しました。湖風祭にチラシを見て来てくださった方や、毎年来ていると話してくださる方がおられて嬉しく思いました。湖風祭は準備期間も含め、楽しいだけではないですが、私にとって今しかできないかけがえのない経験になりました。

第22回
湖風祭を終えて



盛下委員長と幹部の皆さん



写真展 in 第22回湖風祭

写真部が開催した写真展の作品をご紹介します。

「癒し」

古田裕也



動物には癒しの効果があります。

「まちなみ」

山本将輝



白川郷の魅力をこの一枚で伝えます。

「二人席」

宮原大樹



椅子自体が寄り添っているように見えます。

「井の中の蛙」

川村桃子



たとえ大海を知らなくても井の中に綺麗な花が咲いていることを知っています。

就職担当から保護者の皆様へ

滋賀県立大学は「就職に強い大学」です。2016年3月に卒業した本学学部生の就職率は、全国の大学及び国公立大学の平均を上回る98.0%を誇っています。著名企業への就職が伸びているほか、公務員(教員を含む)への就職が全体の1割を占めています。また、滋賀県内の優良企業への就職も多いです。

本学のキャリア教育は1年次から始まります。1回生では、県内主要企業の社長から直接話を聞くことができる授業を前期に開講し、毎年10人以上の社長に登壇いただいております。2回生ではキャリアデザインおよび特論、3回生になると就職セミナーが始まります。就職セミナーは自己分析、業界研究、筆記試験対策、マナー講座、面接対策など年間15回以上開講します。夏休み期間には3回生、院1回生を対象にインターンシップを実施しています。

また、1月に業界研究会、3月に企業研究会と題して「学内合同企業説明会」を開催し、6月には人間看護学部の学生を対象に「病院合同説明会」を実施しています。「学内合同企業説明会」で出会った企業が学生の就職先になることも多くあり、自分に合った企業を見つけられる絶好の機会になっています。

企業の本学への評価は年々高くなっていますが、誰もが希望する企業に簡単に入れるわけではありません。学生ひとりひとりが一生懸命就職活動に取り組んだ結果なのです。

ご家庭では、是非家族にしかできないサポートをお願いします。家族で本音で語り合ったり、メールや手紙を送ったり、交通費等の経済的なサポートをするなど、保護者にしかできないことはたくさんあります。まず、お子様をあたたく支援してください。次に、大学の学生支援センターを利用するように勧めてください。

[学生支援センター 就職担当]

保護者向け就職説明会を開催しました

10月29日(土)、本学交流センターにおいて保護者を対象とした就職説明会を開催しました。本説明会は、最近の就職情報が保護者世代とは様変わりしてきていることから、学生の就職活動に対する保護者の理解と協力を得ることを目的に開催したもので、174名の保護者の方々にご参加いただきました。

本学の就職支援状況についての説明に続き、学内就活セミナーの講師をお願いしている一般社団法人キャリアラボ代表理事の松田剛典さんから「就職活動の現状、家庭で出来る就職支援」と題し講演をしていただきました。その後の座談会では、就職活動を終えたばかりの内定者(現4回生4名)が登壇。「就職活動を振り返って」というテーマに基づき、松田さんの司会進行のもと、就職活動の進め方や、保護者のサポートの重要性など、体験をふまえた生の声を聞かせてくれました。

引き続き学科別の個別相談会を開催し、7学科20名の保護者の方が学科教員と個別に相談されました。



▲職員による就職支援状況の説明



▲一般社団法人キャリアラボの松田剛典さんの講演



▲熱心に耳を傾ける保護者の皆さん



▲座談会に参加した4回生の皆さん



インターンシップ報告2016

自己のこれからを考える ～職業体験をとおして大きく成長～

学部3回生と修士1回生を対象として、夏季休業中にインターンシップを実施しました。これは、就職活動を控えた学生が、職業観や勤労観を育成し、就労への意欲を高めるとともに自己の適性についての認識をさらに深めることを目的としています。

本学と企業・団体等と覚書を締結して行う協定型インターンシップには、71名が参加しました。実習期間は多くの学生が5日間ないし10日間でしたが、18日間の長期にわたって体験実習をした学生もいました。体験先は、県や市をはじめとする官公庁や金融業、製造業、卸小売業そしてサービス業と多岐にわたっています。

参加者は、4月のガイダンス、7月のマナー講座、直前研修を経て自治体や企業等で実習を行いました。また、事前レポート、実習日誌、事後レポート（報告書）の提出が課せられています。

10月にはインターンシップを振り返る報告会を学内で実施しました。そこでは、学生が班別に実習内容やインターンシップから学んだこと、「働く」こと等についてディスカッションを行いました。学生からは、「体験により、企業（業界）をより深く理解できた。」「コミュニケーション能力を高めることの必要性を感じた。」「社員の方の意識の高さに驚いた。」等の感想が聞かれました。

[学生支援センター インターンシップ担当]



ガイダンス

学内研修の様子



マナー研修



報告会

インターンシップの様子



企業内ミーティング



プログラムの開発中

公務員試験対策講座

本学では、毎年5月から翌3月まで主に3回生を対象に公務員試験対策のプロによる「公務員試験対策講座」を3コース開講しています。それぞれ有料ですが、受講者には後援会から助成金が交付されます。

行政職コース(全226回)

[対象] 国家一般職・地方上級・国税専門官・市役所等の行政系職種を目指す方に。

[内容] 公務員試験に必須の主要5科目の集中的なライブ講義とゼミの開講

[受講料] ¥80,000 (税込・教材費込)

[助成金] ¥10,000 (受講料全額支払い後、後援会に申請し助成金を受取る)

一般教養コース(全88回)

[対象] 福祉職・技術職・市役所(一般教養試験のみ)・警察官・消防官を目指す方に。

[内容] 全ての公務員試験で最重要の数的処理を中心とする集中的なライブ講義

[受講料] ¥22,500 (税込・教材費込)

[助成金] ¥ 3,000 (受講料全額支払い後、後援会に申請し助成金を受取る)

1・2回生コース(全184回)

[対象] 在学中に必ず公務員試験に合格したい方に。早い段階からの学習により、余裕をもって本番に臨めます。

[内容] 3回生行政コースとほぼ同じ内容。(一部教養科目、面接対策等除く)

[受講料] ¥61,000 (税込・教材費込)

[助成金] ¥ 8,000 (受講料全額支払い後、後援会に申請し助成金を受取る)

※受講料と助成金は平成28年度の金額です。平成29年度は変更になる可能性があります。

★本学の公務員試験合格者は増加傾向にあります。現状では、合格者が44名おり(11月15日現在)、内21名が行政・事務系職、23名が建築、農業土木等の技術職や公安職です。

この中で特筆すべき点は、行政・事務系職合格者の大半である18名が講座受講生ということです。しかも、約1年間もある講座を最後まで受講し続けた学生が合格を勝ち取っています。毎年、4月20日頃に講座の説明会を行っています。お子様が公務員を目指しておられましたら、参加を勧めてください。

[学生支援センター 就職担当]

「就職活動成功体験インタビュー」～学生からのメッセージ～

就職内定を勝ち取った4回生の皆さんの中から4名の方にお話を伺いました。

氏名
大島 和香那
学部・学科
環境科学部 環境政策・計画学科
内定先
静岡県（行政職）



志望業界	行政
説明会参加数	5社
エントリーシート提出数	4社
面接数	3社
内定数	1社

●就職活動で内定を勝ち取るために何が一番大切だと思いますか？

「能動的になる」こと。不安な時こそ攻めの一步。ぜひ、自己PRを書いてみてください。就職支援室へ相談に行ってください。何かの企画に打ち込んでみるなど、「就活」らしくなくてもよいのではないのでしょうか？もがく中で次のステップが見えてくると思います。

●先輩の皆さんへ就活のアドバイスをお願いします。

自分らしく就活をしたらいいと思います。それぞれ性格も背景も違います。すごく信頼できる人からもらったアドバイスだったとしても、それがその時のあなたにとって正解かは分かりません。納得できる道を一一つ自分で選択してください。あとは心と体の健康を大切に。

●家族へのメッセージをお願いします。

離れた地からいつもあたたかく見守り、助けてくれてありがとう。試験や合格発表の度にお墓や神社にお参りに行ってくれたと聞き、本当に最高の家族に囲まれてるなと感じました。これからも楽しいこと、嬉しいこと、時にはつらいことも分かち合える家族でいようね。

氏名
山内 裕太
学部・学科
工学部 電子システム工学科
内定先
株式会社SCREENセミコンダクターソリューションズ



志望業界	半導体製造装置業界
説明会参加数	30社
エントリーシート提出数	10社
面接数	6社
内定数	4社

●就職活動で内定を勝ち取るために何が一番大切だと思いますか？

自分が行きたい会社に対して、どれだけ「入社したい」という意思を面接でアピールできるかだと思います。そのために、行きたい会社のことを知ること、どこを魅力に感じてその会社を選んだか、その中で自分には何ができるかを考え、明確にすれば結果はついてくるはずですよ。

●先輩の皆さんへ就活のアドバイスをお願いします。

面接に行く前は自分が納得できるまで準備を整えてから臨んだほうがいいと思います。下準備もせず生半可な気持ちで臨むと、人事の方にすぐに見透かされます。はじめは緊張するかもしれませんが、自分の言いたいことが相手に伝えられるようになってくると楽しくなってきますよ。

●家族へのメッセージをお願いします。

今までの22年間、私自身が決めたことをいつも尊重し、応援してくれたことに感謝しています。これからは、自分が一人前の社会人として、あらゆる面で両親を助けてあげられるような人間になりたいと思っています。これからもお世話になるとは思いますが、よろしくをお願いします。

氏名
中岡 友照
学部・学科
人間文化学部 国際コミュニケーション学科
内定先
ヤンマー株式会社



志望業界	農業機械・建設機械業界
説明会参加数	30社
エントリーシート提出数	7社
面接数	7社
内定数	3社

●就職活動で内定を勝ち取るために何が一番大切だと思いますか？

うわさや評判など様々な情報が流れてきますが、最終的に判断するのは自分自身なので、実際に自分で情報を得て行くという姿勢が最も重要なことだと思います。自分で得た情報と人から得た情報を比較して物事を判断することでより正確なものが見えてくると思います。

●先輩の皆さんへ就活のアドバイスをお願いします。

ほとんどの人が初めて就職活動を行います。わからないことがあったり、悩んだりすることがあると思いますがそれが普通のことだと思います。真剣に取り組めば取り組むだけ最後に納得がいく可能性が高くなると思うので精一杯取り組んでください。

●家族へのメッセージをお願いします。

実家暮らしということもあり一番近くで就職活動を見守っていただけたと思います。金銭的にも精神的にも支えていただけたおかげで納得のいく就職活動ができました。ありがとうございました。少しずつ恩返しができると思います。

氏名
角井 里奈
学部・学科
人間看護学部 人間看護学科
内定先
大津市民病院



志望業界	医療
説明会参加数	(合同説明会) 4社
エントリーシート提出数	0社
面接数	1社
内定数	1社

●就職活動で内定を勝ち取るために何が一番大切だと思いますか？

大学生生活や実習、ボランティアなどの取り組みを振り返り、自分の学びとしてもっておく。そして、そこで見えてきた自分の強みや、学び・考えを言葉にしていくことが大切だと思いました。

●先輩の皆さんへ就活のアドバイスをお願いします。

先生方は現場をよく知っている方ばかりです。困ったときは先生方が力になってくださると思いますよ！実習や授業で忙しい中での就職活動は大変ですが、より自分にあった病院と出会うためにも頑張ってください！応援しています！！

●家族へのメッセージをお願いします。

就職について相談にのってくれてありがとう！お母さんとたくさん話している中で、自分が目指すものを見つけることができたと思います。自分で選んだ病院で、素敵な看護ができる看護師になるので、これからも応援よろしくお願いします。

～ 相談室から保護者の皆様へ ～



学生相談室より

多くの大学生は青年期特有の『自分とは何か?』という命題に悩まされます。

『自分(アイデンティティ)』について考える中で心理的に不安定になり、これまでとは違う様子に不安を感じることもあるかと思えます。

「生活リズムの乱れ(食事の量や睡眠時間)」、「体重の増減」、「落ち着かず小さなミスが目立つようになる」、「これまで楽しめていたものが楽しめなくなる」等のお子さんの『生活の変化』に気を配って見守っていただき、何でも話せる時間を作る事が大切だと思います。

単位を取得することは大切ですがカリキュラムを詰め過ぎて疲れ果ててしまったり、心身の健康を損なったりしないように自分のペースを把握し、勉強だけでなく、大学以外のフィールドを活用するのも良いかもしれません。

最初は皆上手にできずに失敗することは当たり前ですので、そういった悩みを相談できる場所をいろいろと作っておくとより良い学生生活を送りやすくなる事でしょう。

その中のひとつとして学生相談室を利用していただければ幸いです。

[臨床心理士 山田裕介]



▲学生相談室の様子



▲臨床心理士の山田先生

健康相談室より

この時期は「頭が痛い、熱っぽい、寒気がする」と言う学生が多く来室します。原因は、風邪(インフルエンザ)の事が多いのですが、話を聴くと予防策ができていない学生が多いのが特徴です。①遅くまでアルバイトをしている、友人と遊んでいる、ゲームやスマートフォンを見ているため睡眠時間が短い②手洗い、うがいを意識していない③寒暖差に合わせた衣服の調節をしていない④バランスのとれた食事がとれていない。また、ストレスや何らかの悩みをかかえていることもあります。

お子様の生活を見ながら声をかける、下宿をしている場合は時折電話をするなどして体調管理にご協力をお願いします。体調面だけでなく学生生活などで気になることや心配なことなどがありましたら、いつでもご連絡ください。

[健康相談室 看護師]



▲健康相談室の様子



▲健康相談室の様子

相談室の開室日

	開室曜日	開室時間	担当者	受付電話番号
学生相談室	月～金曜日(※1)	10:00～18:00	臨床心理士	0749-28-8455
健康相談室	月～金曜日	8:30～18:15(※2)	看護師	0749-28-8225

※1 木曜日(五井和佳子先生)は完全予約制です。詳しくはお問合せください。

※2 休業・調整等期間中は8:30～17:15です。

施設整備等助成事業

後援会では課外活動団体の要望に応じ、毎年施設整備等助成費で様々な助成をしています。今年度助成しました主な事業をご紹介します。

1. カヌー一部艇庫新築

以前から使用していたカヌー一部の艇庫は老朽化が進んでおり、大学の土地活用の計画により艇庫の移転を余儀なくされました。そこで、大学所有の空き地に大学と後援会、体育会、カヌー一部がそれぞれ費用を分担し新しい艇庫となるガレージを建設しました。



▲新しい艇庫



▲艇庫の中

移転のため、カヌーを一時保管場所へ移動したり、引っ越しするのが大変でしたが、艇庫が新しく、大きくなり部員一同喜んでいきます。ありがとうございました。いい成績が残せるよう頑張っていきます。



▲部長の田中さんと出岡さん

カヌー一部部長
田中 慈英

2. トランポリン修理

昨年7月に開催されました「学生懇談会」で体操・トランポリン部からトランポリンの修理の要望がありました。開学以来使用されている2台のトランポリンはスプリングが伸びてしまっていて、1台は使用できない状態になっていました。後援会と体育会、体操・トランポリン部が修繕費を分担し、全てのスプリングを取替え、整備をし、安全に活動ができるようになりました。



▲体操・トランポリン部の皆さん



▲練習風景



▲上野さんと山口さん

私たちの要望を聞いて迅速にトランポリンを修理していただきありがとうございました。おかげで安心して練習ができるようになりました。いい結果が残せるよう今まで以上に練習を頑張っていきます。

上野沙彩・山口悠衣

3. ウォータークーラーの新設

体育館に設置されているウォータークーラーの調子が悪く、「学生懇談会」で体育会から新しくしてほしいとの要望がありました。かなり以前のもので修理は難しいため、後援会の助成で新しいウォータークーラーを設置しました。



リサイクル市開催のお知らせ

環境系サークル「LEAFS(リーフス)」による、リサイクル市が開催されます。

日時 3月26日(日)12時00分より
場所 滋賀県立大学 交流センター
取扱品 家具：カラーボックス・机・イス・ベッド等
 家電：冷蔵庫・洗濯機・電子レンジ・
 照明・トースター・炊飯器等
 その他：食器、雑貨など

卒業する学生の下宿等で不要になった生活用具を中心に安価にて販売します。

詳しくはLEAFSのホームページをご覧ください。



リーフス リサイクル市

検索

「大会出場激励金授与式」

後援会では、予選を通過して関西や全国規模の大会に出場する学生に大会出場激励金を授与しています。今年度は、1月までに5団体28名が理事室にて倉茂理事より激励金を授与されました。

カヌー部

「第39回NHK杯全日本カヌースラローム競技大会」出場

鳥井佑介さん

「第71回国民体育大会(2016希望郷いわて国体)カヌー競技会」出場

鳥井佑介さん、森川瑞希さん



陸上競技部

「第84回近畿陸上競技選手権大会」

- 男子800m出場 山川敬大さん
- 男子3000mSC出場 山口晟司さん
- ハンマー投げ出場 神谷一貴さん
嶋岡慧太さん
- 円盤投げ出場 嶋岡慧太さん
- 女子4x400mリレー出場
齊藤秀香さん、平井真穂さん
葭原優子さん、藤林悠希さん
松岡可純さん
- 女子400m出場 齊藤秀香さん
- 女子走幅跳出場 葭原優子さん
- 女子400mH出場 藤林悠希さん



ウインドサーフィン部

「第71回国民体育大会(2016希望郷いわて国体)セーリングウインドサーフィン級」出場

相馬佳映さん、花田有貴さん

「伊勢湾カップ2016」出場

大田祐希さん、福永康倅さん、川島幹也さん
土屋明穂さん、森村光稀さん、奥村宥紀さん
齋藤優花里さん、不破有理子さん、宮澤証太さん

「2016年度全日本学生

ボードセーリング選手権(インカレ)」出場

相馬佳映さん、大田祐希さん、近藤風太さん
福永康倅さん、川島幹也さん、土屋明穂さん
森村光稀さん、高橋明日香さん
齋藤優花里さん、不破有理子さん

弓道部

「第64回全日本学生弓道選手権大会」出場

倉角哲也さん



キンボールサークル桃球

「第71回キンボールスポーツ
ジャパンオープン・チャンピオンズカップ
女子の部 3位入賞」

澤ノ真央さん、丹羽亜由美さん、富千優さん



事務局からのお知らせ

「はっさか 44号に寄せて」
3月に退任される役員各位からのメッセージを掲載します。

湖風祭実行委員会が、理事会で何度もプレゼンを重ね、県大の物となったステージ。晴天の中、多くの学生やお客さんの前での催しには感動いたしました。



学生との懇談会での要望も、4年前とは比べ物にならない程しっかりした物になってきて、後援会として多くの要望に応えることができたのではないかと思います。また、要望実現に向けて、学生との交渉をして頂いた事務局にも感謝申し上げます。今後も、少しでも学生の応援になるように、県大を盛り上げて行ってください。

前川 明

地元に住みながら、今まで県立大学に関わることもほとんどありませんでしたが、息子の入学を機に後援会の理事にとお話を頂き、理事の方や事務局の方々が日々、学生たちのことを考え熱心に取り組んでおられることを知りました。それに応えるように部活やサークル等で、たくさんの学生さんたちが活躍されています。その学生さんのお話を直接聞く時間もあり、県立大学をより身近に感じることができました。4年間お世話になり、ありがとうございました。今後も、県立大学の益々の発展をお祈りしています。



馬場 淳子

息子の大学入学と同時に後援会理事のお話を頂き、微力ではありますが、大学のお手伝いのできればとお引き受けいたしました。理事会では、事務局の方や学生の方々から大学の現状や部活動、サークル活動の様子をお聞きし、後援会からのサポートができるかどうかを話し合う貴重な経験をさせていただき、大学をより身近に感じることができました。今後も学生の皆さんがより充実した学生生活を送れるよう、それに寄り添う後援会でありまますようお願いいたします。

澤田 好美

月日が経つのは本当に早いもので、後援会理事の任期も終わりに近づいてきました。後援会活動に参加して、学生の皆さんの充実した活動ぶりを垣間見ることができました。これからも、学生の皆さんのエネルギッシュな若い力で、地域を活性化してください。娘の卒業で一抔の寂しさを覚えますが、輝ける新しい旅立ちに心からエールを送ります。最後に、地域に開かれた県立大学と後援会のますますの発展を心からお祈りいたします。

長野 繁樹

春の学校行事のご案内

■2016年度 学位記授与式

日 時:2017年3月20日(月・祝)

第1部 大学院学位記授与式

午前9時~9時35分

第2部 学部学位記授与式

午前10時45分~(11時30分)

※学生表彰

(11時30分)~11時50分

場 所:滋賀県立大学

交流センターホール

■2017年度 入学式

日 時:2017年4月6日(木)

午前10時開式

場 所:ひこね市文化プラザ

■2017年度 後援会総会

日 時:2017年4月6日(木)

午前11時15分開会

※入学式後、同会場にて開催予定



後援会ホームページのご案内

後援会の事業内容や学生保険の詳細、広報「はっさか」のバックナンバー、お知らせや大学の様子を伝えるブログなどをご覧ください。

滋賀県立大学後援会

<http://www.usp-koenkai.jp>

検索